

令和4年度

小松島市地域公共交通活性化協議会

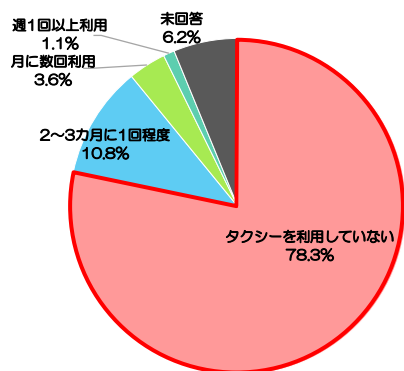
タクシーの営業区域の変更について

01. タクシーの営業区域の変更について

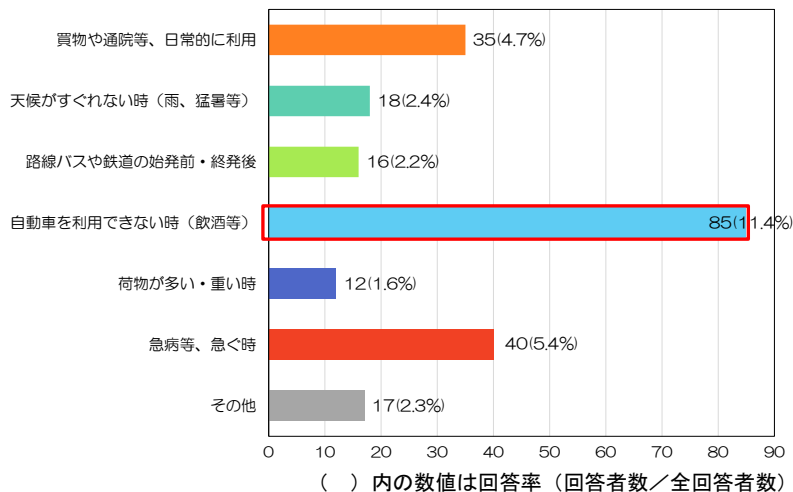
(1) 市民アンケート結果のタクシーに関する回答のおさらい

・市民アンケートから、普段のタクシー利用者は2割弱(115人/743人)となっている。

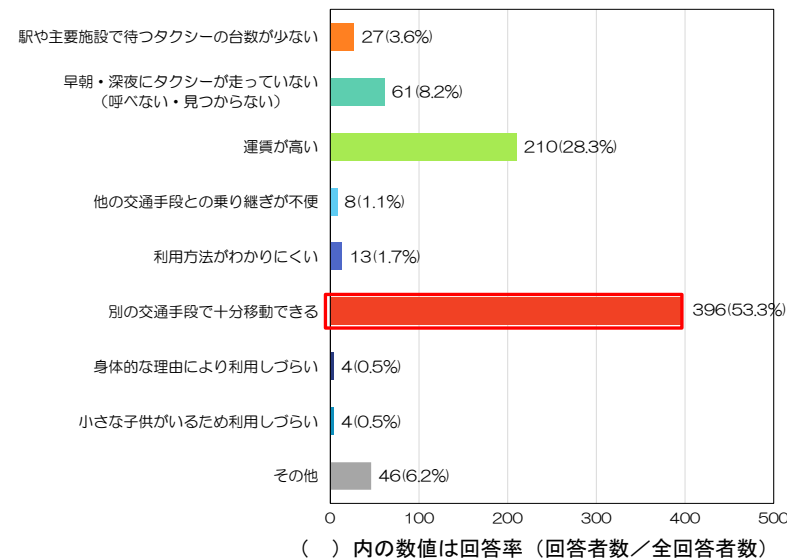
▼タクシー利用頻度



▼タクシーの利用状況(タクシー使用者) 【複数回答可】



▼タクシーを利用しない(できない)理由 (タクシー未使用者)【複数回答可】



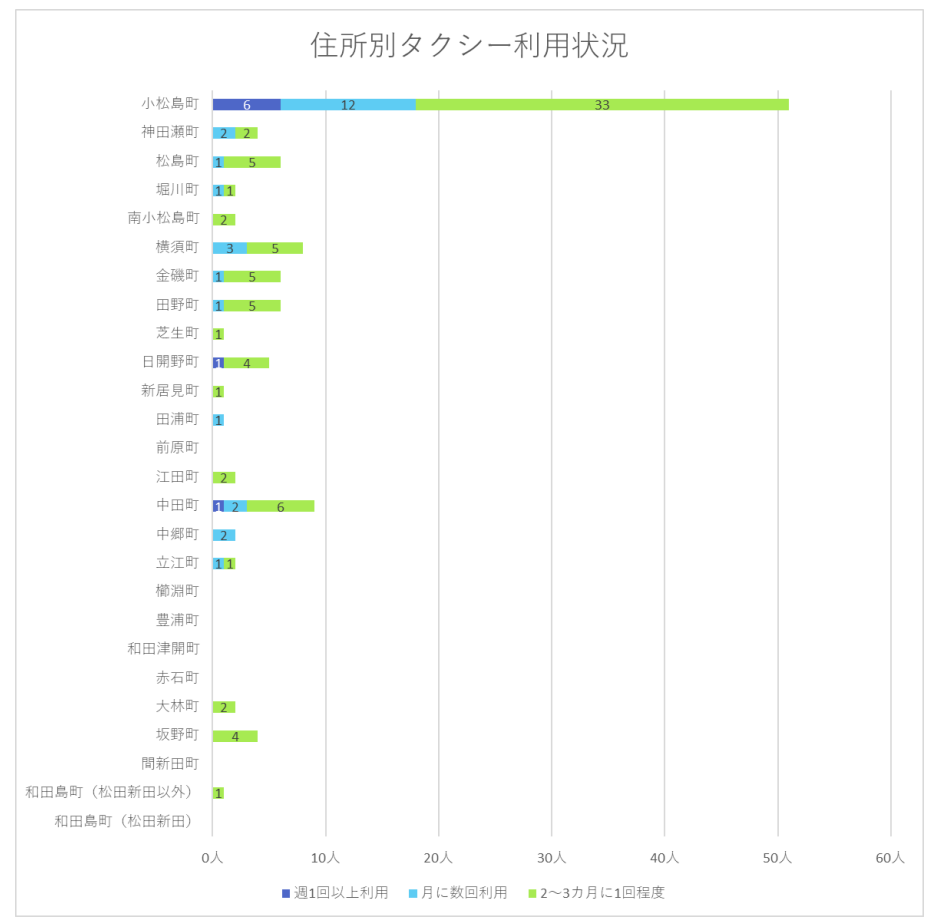
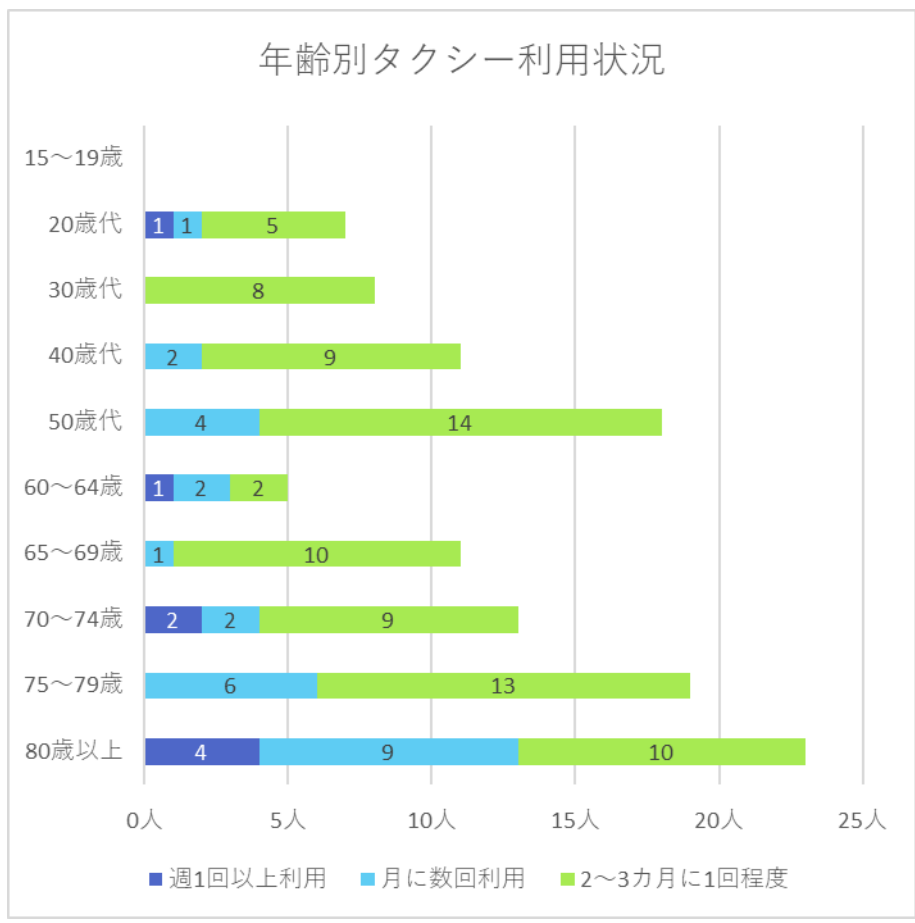
▼タクシーに対する意見・要望(自由意見・一部抜粋)

タクシーに対する意見・要望	回答数(人)
早朝・深夜の利用ができない	23
タクシーの台数・会社が少ない	20
運転手のマナー・車内環境	19
割引券・回数券、高齢者チケットの導入	12
運賃が高い	11
介護タクシー・乗合タクシーの導入	5
その他 26件	合計116件

01. タクシーの営業区域の変更について

(2) 現状のタクシーの利用頻度と年齢構成、住所

- 週1回以上や月に数回利用するのは高齢者の割合が高い。
- 住所は小松島町、松島町、中田町、横須町、金磯町といった比較的南小松島駅に近いが徒歩では少し時間がかかるエリアが多くなっている。

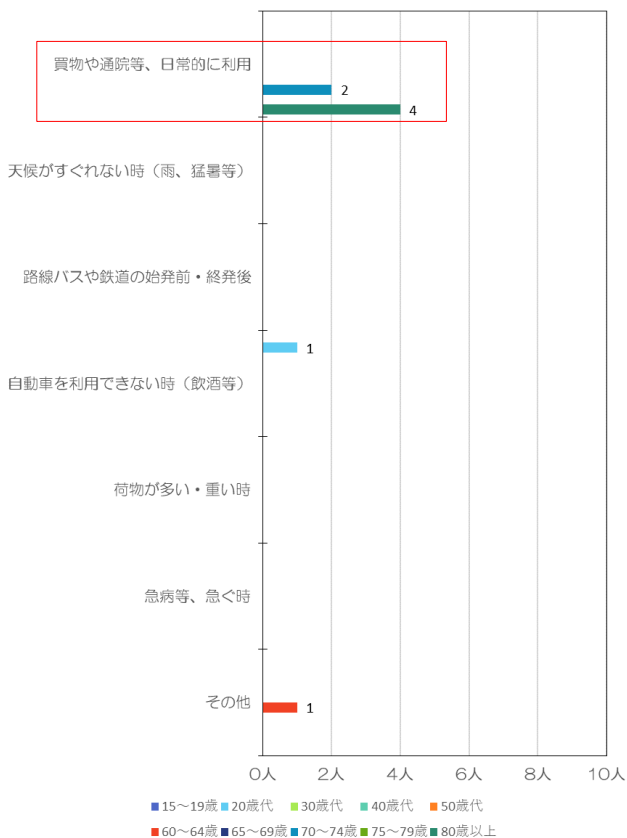


01. タクシーの営業区域の変更について

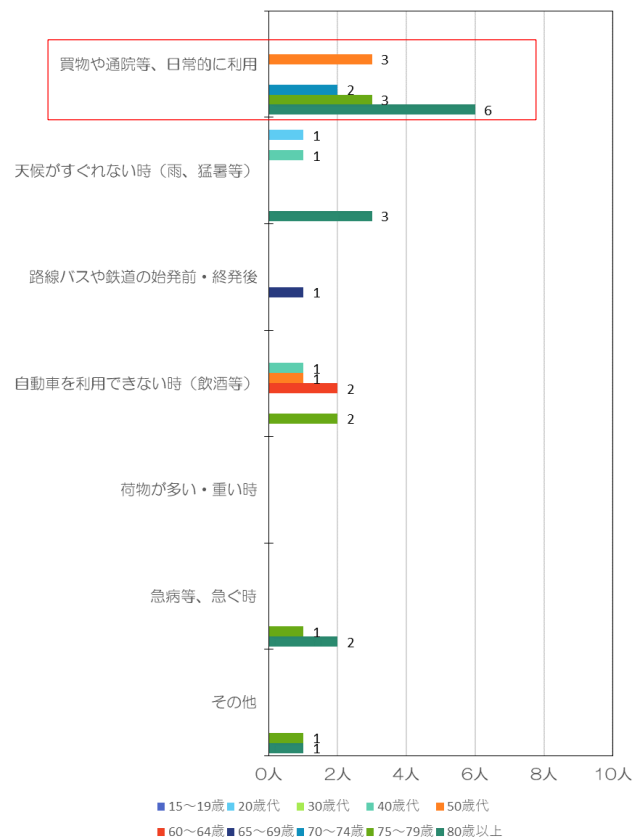
(2) 現状のタクシーの利用頻度別の目的

- 週1回以上利用する方は70歳以上の買物・通院に利用されており、月に数回利用する方も50歳以上の買物・通院が最も多くなっている。
- 2～3か月に1回程度となると、50歳以下の利用も増え、自動車を運転できない時の利用が多くなる。

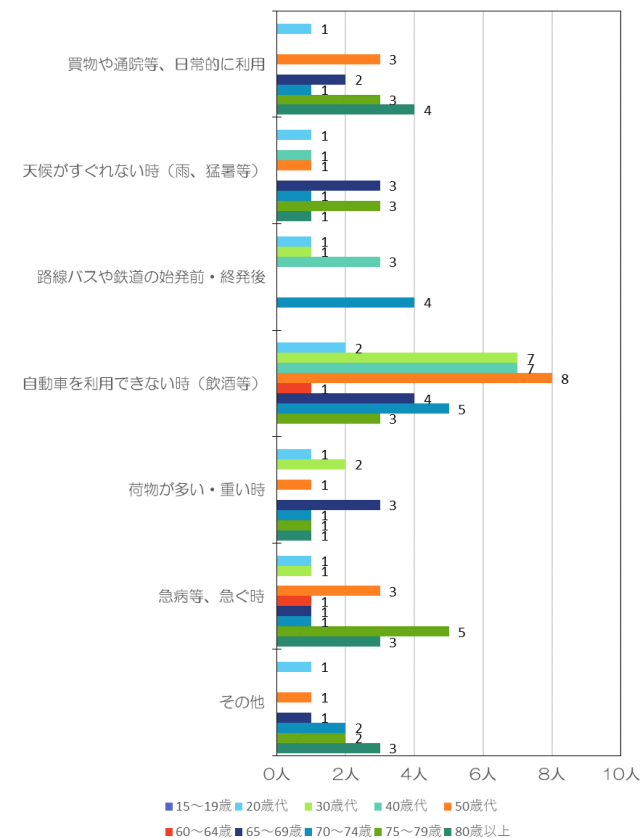
▼週に1回利用



▼月に数回利用



▼2～3か月に1回程度利用

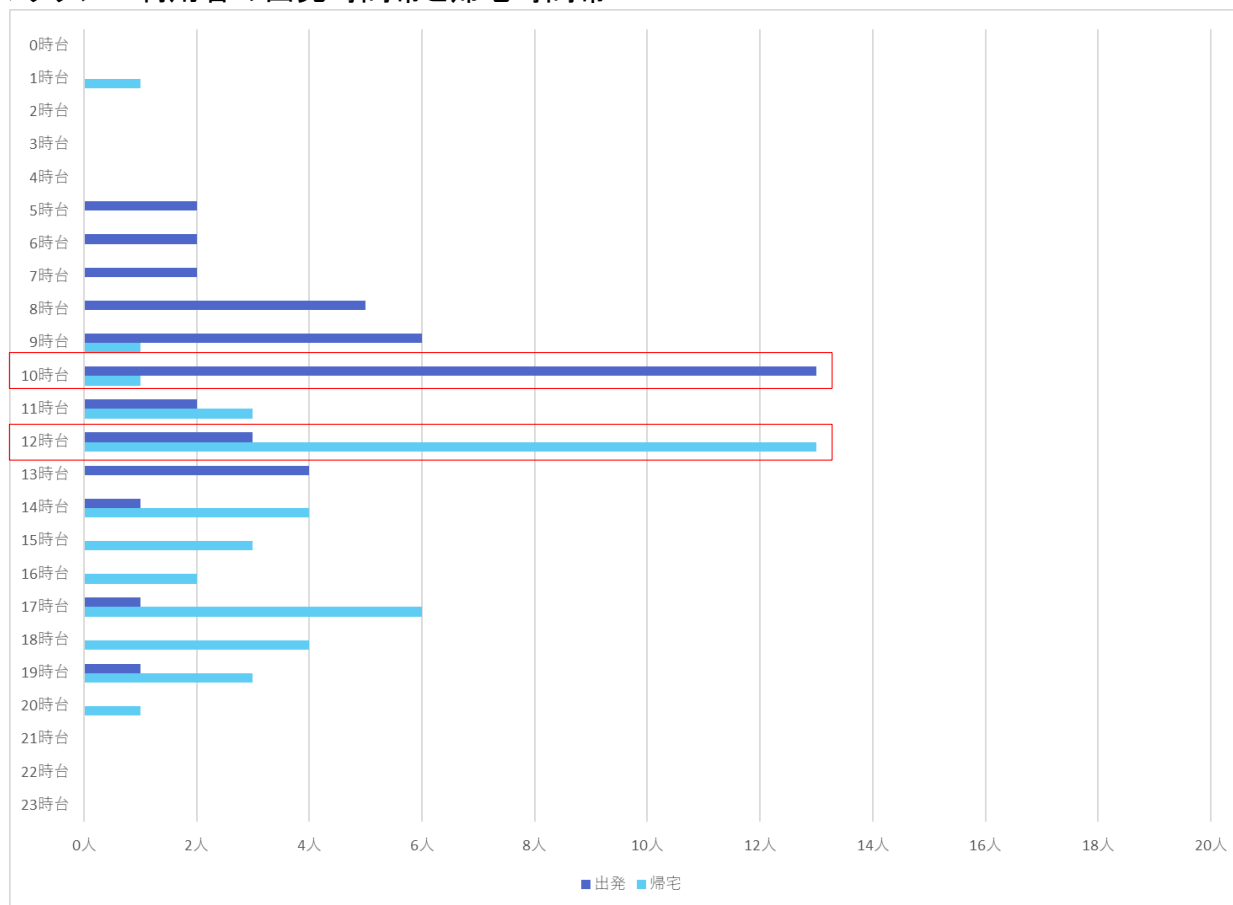


01. タクシーの営業区域の変更について

(3) 現状のタクシーの出発時間帯と帰宅時間帯

- 最も多い移動でタクシーによる移動とされた方々は10時台の出発、12時台の帰宅が最も多くなっており、日中の日常利用が多いと考えられる。
- 一方で、夜間利用帯の利用は1人いるもののほとんどなく、その他意見にもあった、待合タクシーがない状況等が影響しているものと考えられる。

▼タクシー利用者の出発時間帯と帰宅時間帯



01. タクシーの営業区域の変更について

(4) タクシーの潜在需要の推計

- 市民アンケートの回答者数(743人)を対人口比率から、タクシー利用者(顕在需要)と、未利用者の内タクシーの条件が改善された場合利用に転じそうな回答者(潜在需要)を人口換算に推計。
- 1日当りの利用者数を推定すると顕在需要が168人、潜在需要が43人の合計211人程度の利用が推定される。
- 【試算】1時間当たり1組(2人)乗車、乗務員の労働時間を8時間とすると、1台当たり16人/台・日となり、顕在需要で稼働タクシーが11台/日必要となる上に、潜在需要として追加3台/日必要となる。

▼小松島市の人口(令和4年3月31日時点)

	男性	女性	合計
15-19歳	770	768	1,538
20歳代	1,576	1,425	3,001
30歳代	1,746	1,552	3,298
40歳代	2,446	2,264	4,710
50歳代	2,391	2,386	4,777
60-64歳	1,162	1,266	2,428
65-69歳	1,334	1,414	2,748
70-74歳	1,704	1,873	3,577
75-79歳	1,072	1,229	2,301
80歳以上	1,514	2,743	4,257
15歳以上の合計			32,635

▼市民アンケートのタクシー利用頻度の回答者の人口換算(顕在需要)とタクシー条件が改善すれば利用意向のある回答者の人口換算(潜在需要)

		1日当りの利用者数	
顕在需要	①週1回以上利用(週1回≒7日に1回と想定)	50人	=351/7
	②月に数回利用者(月2回≒15日に1回と想定)	79人	=1186/15
	③2~3ヶ月に1回利用者(年4回≒90日に1回と想定)	39人	=3514/90
潜在需要	④駅や主要施設で待つタクシーの台数が少ないから未利用(タクシーの台数が増えれば年4回≒90日に1回利用すると想定)	13人	=1186/90
	⑤早朝・深夜にタクシーが走っていないから未利用(早朝・深夜にタクシーがあれば年4回≒90日に1回利用すると想定)	30人	=2679/90

顕在需要:(50+79+39)/16≒11台/日

潜在需要:(13+30)/16≒3台/日 が必要と見込まれる。

以上より、1日当たりの稼働台数は14台/日必要と見込まれる。

▼市民アンケート(全回答者743人)のタクシー利用頻度及び未利用者の回答者の人口換算

市民アンケートの回答者数	人口換算
週1回以上利用	8人 351 =8 × (32635/743)
月に数回利用	27人 1,186 =27 × (32635/743)
2~3カ月に1回程度	80人 3,514 =80 × (32635/743)
駅や主要施設で待つタクシーの台数が少ないから未利用	27人 1,186 =27 × (32635/743)
早朝・深夜にタクシーが走っていないから未利用	61人 2,679 =61 × (32635/743)

01. タクシーの営業区域の変更について

(5)まとめ

【市民アンケートによるタクシー利用者に関する考察】

<タクシー利用者>

- ・タクシーの利用者は全回答者中の2割程度
- ・週1回以上利用は70歳以上が多く、住所は南小松島駅周辺
- ・月に数回の利用は50歳以上が多く、2～3か月に1回利用は若年層の利用も見られる



<利用目的>

- ・月に数回以上利用する方は買物や通院等の日常利用が多い
- ・2～3か月に1回利用の方は日常利用や飲酒時の他、緊急時や悪天候時の利用もある

【市民アンケートによるタクシー未利用者に関する考察】

<タクシー未利用者の利用しない理由> (自由意見も含む)

- ・「早朝・深夜に走っていない」や「駅や主要施設でのタクシー待ち台数がない」の回答が多い



- ・左記の条件が解消されれば利用する可能性は増えると考えられる

<早朝・深夜使えないと回答した方>

- ・30歳以上に多い
- ・南小松島駅周辺のエリアの住民が多い



- ・深夜帯にタクシーがあれば、小松島市繁華街や徳島市内で飲食後、終電で南小松島駅からの利用が増えると考えられる。

<駅や主要施設で待つタクシーが少ないと回答した方>

- ・50歳以上に多い
- ・南小松島駅周辺のエリアの住民が多い



- ・日中にタクシーの待ち台数が増えれば、駅や主要施設からの利用が増えると考えられる。

【タクシーの潜在需要に関する考察】

- 1時間当たり1組(2人)乗車、乗務員の労働時間を8時間とすると、
- ・顕在需要として、1日当たり11台の稼働タクシーが必要
- ・潜在需要として、1日当たり3台の稼働タクシーが必要と見込まれる
- よって、1日当たり14台の稼働タクシーが必要と見込まれる

上記より、営業区域変更をすることで、潜在需要に応えることが必要であり可能と考えられる。